



地域組織の確立で
会員間の絆の促進を

シニアと現役による第2回連携強化懇談会を開催

現役から「村田きょうこ」への支援活動への協力要請 シニアクラブから組織拡大の取組みへの支援要請

JAMシニアクラブ 中央本部は5月10日、JAM本部の会議室で22年度第4回三役会議を対面で開催し、7月投票の参議院議員選挙で「村田きょうこ」候補予定者を参議院に送り出す取り組み、参議院選挙の結果後になる9月から向こう1年間の活動方針を主要議題として討議しました。

さらには地球温暖化防止に向けた諸施策の実施を求めていくこと、③退職者連合とともに強化する取り組みとして「物価高と生活防衛の取り組み」「ロシアのウクライナ侵略に反対する取り組み」などの補強を提案。討議の結果、田中次長提案の補強とさらに次の点を補強することを確認しました。

第1に、物価高と生活防衛の取り組みでは、国際的な資源・食料の高騰、円安、ウクライナへの侵略が言われて

いるが、同時に岸田政権も引き継いでいるアベノミクスの失敗があることを明確にして政策対案を求めていくこと。

第2に、ロシアのウクライナ侵略に乗じて自民党が敵基地攻撃（反撃）能力の保有や防衛費のGDP2%への引き上げを提言し、岸田政権もその提言を

「村田きょうこ」候補予定者応援を全力で「村田きょうこ」候補予定者を参議院に送り出す取り組みでは、取り組みの開始が遅れたことよって「村田きょうこ」応援者の目標には大きく届いていない状況を直視するとともに、過去の実績をも踏まえて各地方シニアクラブが設定している目標にもとづき目標をやり抜くために、5月以降の主な取り組みを確認し、各地方シニアクラブの一層の奮闘を要請することにした。

主張



2月24日のロシアによるウクライナへの侵攻以来連日テレビなどでその状況がリアルに報道されその惨状はまさに目を覆うばかりです。そしてそのことが私の遠い記憶に重なってきています。

昭和20年5月に私の生まれ故郷の横浜で大空襲があり、当時私は3歳、妹は1歳で母と3人で業火の中を逃げまどい九死に一生を得ました。私の断片的な記憶では避難する途中の家が焼けていたり、防空壕の中の水が異常に冷たかったりといったものです。そしてその後の厳しい食料難は勿論良く覚えております。

このような経験をした私たちは先の大戦を若干でも知っている最後の世代でしょう。この世代にとって戦争は「絶対悪」であり、非戦を唱える「平和憲法」は当然唯一無二のものと認識してきました。

我が国の憲法の前文にこうあります「日本国民は...平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して、われらの安全と生存を保持しようと決意した」これを礎として憲法第9条（戦争の放棄など）が成り立っています。

しかし、この度のウクライナの情勢によって見事なほど決定的にこの前文は空文化してしまいました。従ってこの機会に憲法9条並びに日本の安全保障について

「政治に無関心であっても、無関係ではいられない」と言われます。安全保障の如き大きなテーマから「年金・医療・介護」更には目下の「狂乱的な諸物価の高騰」まで、問題が山積しています。また、バブルが弾けて以降日本経済は低成長を余儀なくされ、賃金は上がらず国民生活はますます苦しくなっています。

ウクライナ問題と平和憲法

茨城シニア会長 高石克己

論点は改正して何を狙うのか、です。現在でも統治

私たちが全力で支援しましょう。

↓強化懇談会が開催されました。JAM本部木村組織グループ長の司会で進められ、JAM安河内会長は春闘でJAM結成以来の最高の賃上げとなっていること、その理由として賃金水準を重視する取り組み、人手不足、さらには賃金水準が低い中では足下の物価上昇も後押しをされており、物価上昇分を確保する取り組みは来春闘にも引き継がれると挨拶で述べ、参議院選挙、政治の状況についても報告しました。

物価上昇と生活防衛の取り組みを重視していることなどに触れたシニアクラブ大山会長の挨拶後、意見交換を行いました。

「村田きょうこ」候補予定者を参議院に送り出す取り組みでは、JAM組合員に「村田きょうこ」候補予定者が知れわたり、議員秘書などの経験から候補者であり、評判が良いことが報告され、終盤に向けての取り組みを強化することを確認しました。

また、シニアクラブの組織の強化、会員の拡大に関連して、JAMの企業でも60歳代後半の継続雇用が進む状況にあるこ



岐阜
第21回研修会開催
シニア事務局長
井亦廣幸

岐阜のシニアクラブは、5月14日(土) ワークショップ 岐阜 (3階) にて、

とが報告され、シニアクラブ、OB・OG会の担い手などが重要な課題になることなどが浮き彫りになりました。

足並みが乱れている野党の状況についても意見を交わし、日本維新の会が野党第一党になる力を持つことは翼賛政治になることが目に見えていること、立憲民主党を軸に野党勢力の結集が必要であることなどの意見が出されました。



野々村葬儀社に所属する服部通浩さんを講師に招き、「終活とエンディングノート」と生前整理及び「遺品」をテーマに現役を

含む31名の方に参加を頂き研修会を開催しました。

今回の研修会は2年ぶりの開催となりました。当初は2月19日開催予定でしたが、コロナ感染まん延防止等重点措置(まん防)が出され感染拡大対策が取られており5月連休明け開催に延期。連休明けは感染者上昇傾向にあり心配しましたが、感染対策を十分取り参加者も通常開催の半分に絞り開催しました。

今回は最近よく新聞やテレビで耳にする「終活」を見つめ、準備すること

で今をよりよく生きようという活動「終活」「生前整理」をテーマに講演を頂いた。

コープ岐阜「井戸さん」よりテーマの事前説明と講師紹介などお話があり、その後、講演(レジュメ)に沿って服部講師に講和を頂いた。

第1、「終活」の背景と必要とされる理由

- ・ 高齢者・高齢化率はなぜ高い? 日本の高齢化率(65歳以上) 25・9% (世界一)
- ・ 高い医療水準・社会保険、多い団塊世代(70歳代)、少子化の進行(世界ワースト10位)
- ・ 老後・エンディングを自分で備える「終活」に取り組む方が急増、「迷惑をかけたくない」という心理が働く(子供や家族、遺された人への負担が心配)

第2、エンディングについて考える事

①事前のこと

- ・ 遺言: 自筆証書遺言、公正証書遺言、秘密証書遺言
- ・ 家族へのメッセージ: 人生の記録や死後の希望をノートにまとめる(エンディングノート)
- ・ 生前整理: 遺産相続のトラブル回避(保有資

産の洗い出しと相続人や資産の処分)

②葬儀のこと

葬儀内容、供養の方法

③事後のこと

遺品の整理: 遺品整理のポイント、遺産・諸手続き: 動産・不動産などは専門家の意見を聞き相続や処分を決めておく

最後に服部講師から相続を争続にしないためにも、終活は今からできるご自身の、そしてご家族へのもしもの時の備えの第一歩ですと話され、改めて終活とエンディングについて考えることが出来ました。

講師の服部さん有難うございました。

1月の新春の集いや4月のパークゴルフが新型コロナウイルス感染拡大により相次いで中止される中、今期初の会員交流行事として熱戦が繰り広げられました。

競技終了後に表彰式のみが短時間で終われ、新ペリア方式で行われた結果、不二サッシ出身の阿井一浩さんがハンデにも恵まれ見事初優勝を飾りました。

千葉
ゴルフ交流会開催
シニア事務局長
田中久弥

千葉のシニアクラブは、2022年度春季ゴルフ交流会を5月11日(水)に茂原市の真名カントリークラブ真名コースで、コロナ感染防止対策を徹底しながら参加者27人で開催しました。

当日は、当初雨模様の予報でしたが一転してゴルフ日和となりました。スタート前の朝礼では、



長岡功会長から、高齢なので無理をせずケガの無いよう楽しくプレーしてもらおうことと、2カ月後に行われる予定の参議院比例代表選挙で「村田きょうこ」候補予定者への支援をお願いしました。

長岡功会長から、高齢なので無理をせずケガの無いよう楽しくプレーしてもらおうことと、2カ月後に行われる予定の参議院比例代表選挙で「村田きょうこ」候補予定者への支援をお願いしました。